

認知症作業療法 活動報告（概要）

島根県作業療法士会は、会員数525名・所属施設数132(令和2年1月21日現在)で構成されています。令和2年度は、県士会におけるコロナウイルス対策として対面形式での研修会の実施を中止と致しました。その為、残念ながらグループワークを中心に考えていた認知症研修会も開催を見合わせる事としました。現在は、アフターコロナにおける活動方針を検討しており、認知症OTパンフレット作成などを進めています。

認知症アップデート研修(松江地区：6月13日→中止)

令和2年度の認知症アップデート研修は、まだ参加者が少ない地域であった松江地区での開催を予定していました。内容も、認知症作業療法評価の手引きなどを用いたオリジナル講義+グループワークを企画していましたが、感染予防の観点から今年度は中止と致しました。現在は、ホームワーク形式での認知症アップデート研修の代替案を検討しています。

認知症研修会の実施(出雲地区：7月4日→中止)

令和2年度認知症チーム研修は、多職種での認知症ケアスキル向上を目的として、広島国際大学教授：大井先生と認知症家族の会：黒松先生に講師をして頂き、「帰宅欲求のある方へのケア」についての研修を企画していました。しかし、内容がグループワーク中心である事から、感染予防の観点において今年度は中止と致しました。

地域や行政、認知症家族の会との連携

今年度は、当認知症作業療法推進委員会のメンバーが、県内認知症家族会の季刊誌にフレイル予防に関する記事を書かせて頂きました。また、他職種向けの認知症作業療法啓発パンフレット作成も進めています。

島根Run伴への参加(出雲・大田・浜田・益田地区→中止)

島根県作業療法士会会長が実行委員長となり他職種と連携しながら「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指して認知症の人と家族の会・他職種・行政・一般の方と連携しながら活動しています。令和2年度から、益田地区も新たに加わり、4か所での実施を考えていましたが、コロナウイルスの影響により、残念ながら中止となりました。

今後の展開

アフターコロナ環境下における、県士会員及び他職種、一般市民に向けての県士会活動方法の検討

島根県作業療法士会 地域包括ケア推進委員会 (認知症の作業療法) 研修会

2020年度 認知症アップデート研修 for home study

作業療法士の認知症知識向上を目的として行ってきました。
アップデート研修は今年度より、自宅学習方式へと変更になります。

研修実施手順

STEP1 → STEP2 → STEP3

合格証書

作業療法士コラム

認知症になっても安心して暮らせる町を目指して！

RUN TOMO

島根エリア